

[平面図]

平成21年2月27日 国土交通省告示225号

第1条 二項 “ストーブ”の規則に従い、内装制限の緩和を受け設置を行う場合の可燃物燃焼部分の算定

正面 (炉)

正面投影面積… [4963.4] 平方センチメートル

算定式=2.4√(正面投影面積)

$$= 2.4 \times \sqrt{4963.4}$$

$$= 2.4 \times 70.45$$

$$= 169.08$$

正面 169.1 cm (遮熱板設置時最小距離 56.4 ≥30cm)

側面

側面投影面積… [3502.5] 平方センチメートル

算定式=1.59√(側面投影面積)

$$= 1.59 \times \sqrt{3502.5}$$

$$= 1.59 \times 59.18$$

$$= 94.10$$

側面 94.1 cm (遮熱板設置時最小距離 31.4 ≥30cm)

背面

背面投影面積… [4963.4] 平方センチメートル

算定式=1.59√(背面投影面積)

$$= 1.59 \times \sqrt{4963.4}$$

$$= 1.59 \times 70.45$$

$$= 112.02$$

背面 112.0 cm (遮熱板設置時最小距離 37.3 ≥30cm)

上面

上面投影面積… [4088.2] 平方センチメートル

算定式=0.0106×[1+10000/(上面投影面積+800)]×上方投影面積

$$= 0.0106 \times [1+10000 / (4088.2 + 800)] \times 4088.2$$

$$= 0.0106 \times [1+10000 / 4888.2] \times 4088.2$$

$$= 0.0106 \times [1+ 2.05] \times 4088.2$$

$$= 0.0106 \times [3.05] \times 4088.2$$

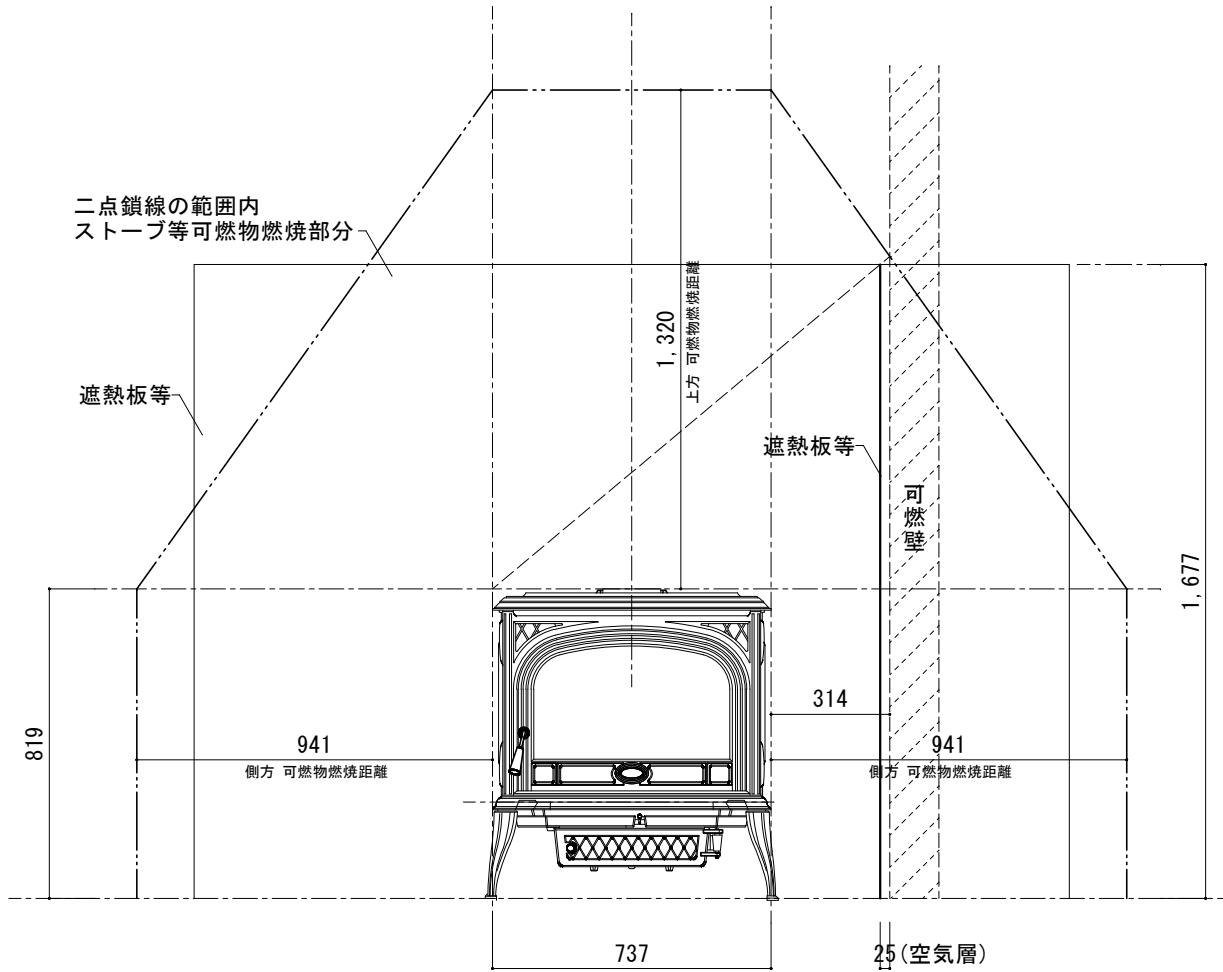
$$= 131.99$$

上面 132.0 cm (遮熱板設置時最小距離 56.0 ≥45cm)

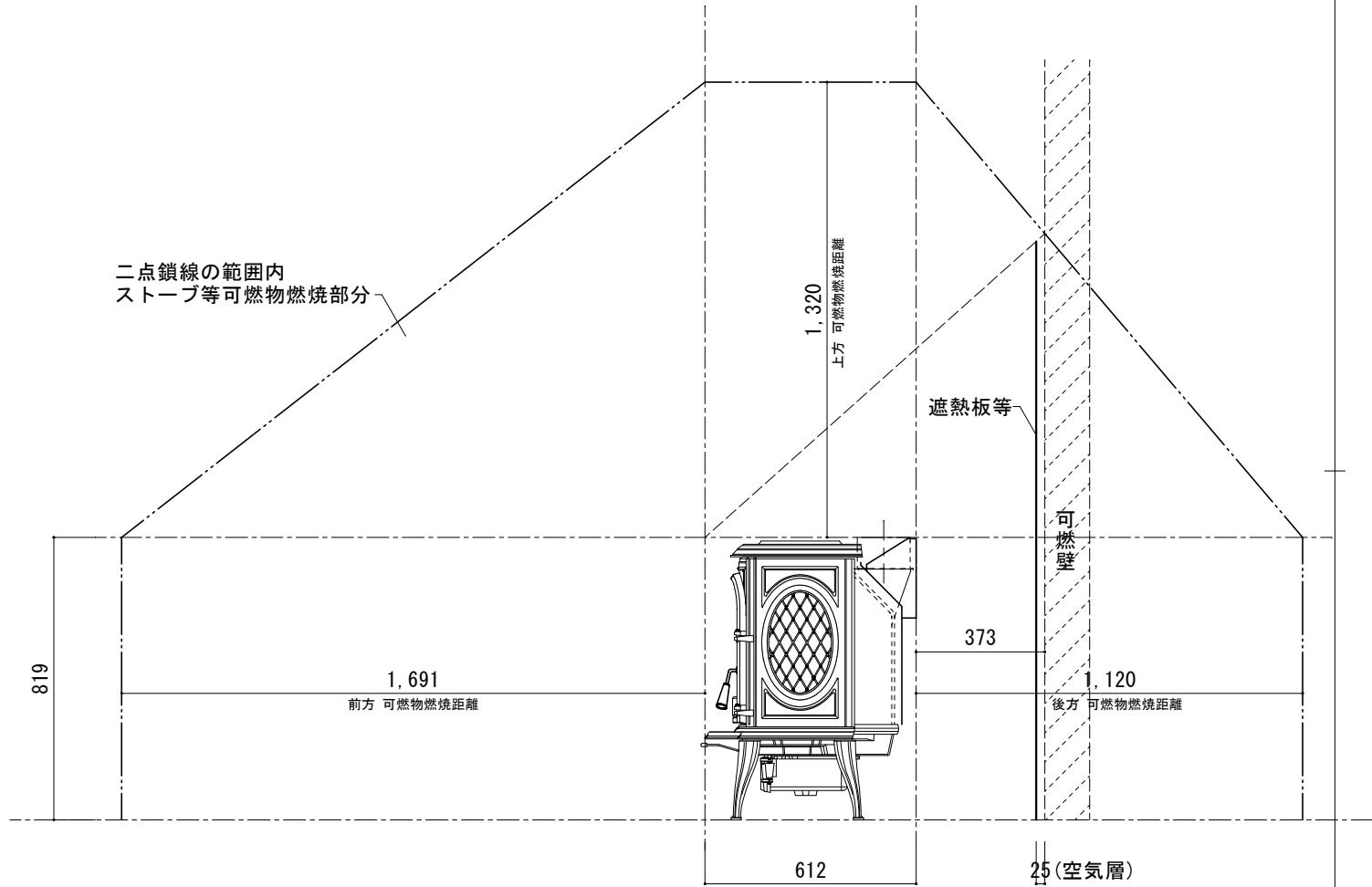
留意事項

- 告示225号内装制限の緩和の摘要は、兼用住宅にあっては住宅以外の用途に供する部分の面積が延べ面積の1/2未満かつ50m<sup>2</sup>を超えない事。
- 遮熱板等と建築側との隙間は空気層として25mm以上確保すること。
- 炉の前方床保護範囲及び煙突・燃焼用給気などストーブ設置要件については、「施工標準図(火気使用室の内装制限に従い設置)」を参考とする事。

建築基準法や各自治体の火災予防条例等を考慮し、所轄監督官庁と事前協議の上、指示に従って施工を行って下さい。



[正面図]



[側面図]

平成21年2月27日 国土交通省告示225号

第1条 二項 “ストーブ”の規則に従い、内装制限の緩和を受け設置を行う場合の可燃物燃焼部分の算定

正面(炉)

正面投影面積… 4963.4 平方センチメートル

算定式=2.4√(正面投影面積)

$$= 2.4 \times \sqrt{4963.4}$$

$$= 2.4 \times 70.45$$

$$= 169.08$$

正面 169.1 cm (遮熱板設置時最小距離 56.4 ≥30cm)

側面

側面投影面積… 3502.5 平方センチメートル

算定式=1.59√(側面投影面積)

$$= 1.59 \times \sqrt{3502.5}$$

$$= 1.59 \times 59.18$$

$$= 94.10$$

側面 94.1 cm (遮熱板設置時最小距離 31.4 ≥30cm)

背面

背面投影面積… 4963.4 平方センチメートル

算定式=1.59√(背面投影面積)

$$= 1.59 \times \sqrt{4963.4}$$

$$= 1.59 \times 70.45$$

$$= 112.02$$

背面 112.0 cm (遮熱板設置時最小距離 37.3 ≥30cm)

上面

上面投影面積… 4088.2 平方センチメートル

算定式=0.0106×[1+10000/(上面投影面積+800)]×上方投影面積

$$= 0.0106 \times [1+10000/(4088.2+800)] \times 4088.2$$

$$= 0.0106 \times [1+10000/(4888.2)] \times 4088.2$$

$$= 0.0106 \times [1+2.05] \times 4088.2$$

$$= 0.0106 \times [3.05] \times 4088.2$$

$$= 131.99$$

上面 132.0 cm (遮熱板設置時最小距離 56.0 ≥45cm)

留意事項

- 告示225号内装制限の緩和の摘要は、兼用住宅にあっては住宅以外の用途に供する部分の面積が延べ面積の1/2未満かつ50m<sup>2</sup>を超えない事。
  - 遮熱板等と建築側との隙間は空気層として25mm以上確保すること。
  - 炉の前方床保護範囲及び煙突・燃焼用給気などストーブ設置要件については、「施工標準図(火気使用室の内装制限に従い設置)」を参考とする事。
- 建築基準法や各自治体の火災予防条例等を考慮し、所轄監督官庁と事前協議の上、指示に従って施工を行って下さい。

